

「2011年東北地方太平洋沖地震」に対する声明

3月11日、午後に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、最大震度7、マグニチュード9.0という日本の観測史上最大・最悪のものとなりました。

地震直後に発生した巨大津波によって沿岸部の町々が壊滅状態となり、多くの尊い人命が失われました。また、地震による建物倒壊、火災や爆発事故で多くの方が負傷されているとの情報も次々と明らかとなっております。

いまだにライフラインが寸断され、寒さと飢えの中で救助を待つ被災者が多数おられますが、この度の震災で、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆さま方に心よりお見舞いを申し上げます。

また、JRをはじめとする公共輸送機関の各施設にも多大な被害状況が次々と明らかとなっておりますが、復旧に向けて懸命に作業にあたられている関係者と組合員に敬意を表します。

国鉄労働組合は、この度の震災で被災された組合員・家族の支援と救援に全力を挙げるために東日本本部とともに「東日本大地震災害対策本部」を設置いたしました。

組合員・家族の安否確認と被害状況の把握に全力をあげるとともに、必要な支援について今後対応をすすめてまいります。

何より、国民の足を守る立場から、会社と協議し鉄道の復旧・復興に全力をあげることにも明らかにするものです。

日本各地の友誼組合の他、ITFからもお見舞いのメッセージが届けられています。

国鉄労働組合は、被災された仲間への激励・支援に全力をあげる決意をあらためて明らかにするとともに、全国の仲間からの支援・連帯を要請するものです。

皆さん、ともに頑張りましょう。

2011年3月14日

国鉄労働組合
同東日本大地震対策本部